

仮に従来の公共事業方式で建設した場合、用地の買戻しまで含めると建設費は約88億円と試算し、財源としては、庁舎建設基金22億8千万円や起債、市有地の売却や補助金の活用など、財源の確保に努めることとしています。

| 項目 | 対象 | 金額 | 根拠 |
|-----------|-----------|--------------------|--|
| 建築 工事費 | 庁舎本体 | 6,020,000千円 | RC造免震、延床14,000㎡(想定規模)、 単価43万円/㎡(他市庁舎建設費を参考) |
| | 立体駐車場 | 1,170,300千円 | S造、延床12,450㎡、498台、 単価9.4万円/㎡(市場調査) |
| 委託料 | 基本構想～基本設計 | 69,450千円 | 福岡県設計・工事監理委託料算定基準等より |
| | 実施設計 | 139,636千円 | |
| | 監理 | 52,751千円 | |
| 外構費 | — | 149,312千円 | 単価1.6万円/㎡×9,332㎡ (14,932-庁舎 2,500-立駐3,100) |
| その他 | — | 364,000千円 | 移転費、備品費等 単価2.6万円/㎡ |
| 用地費 | 森永買戻し限度額 | 869,393千円 | 14931.38㎡ |
| 事業費計 | | 8,834,842千円 | |



目指すべき市庁舎の姿は…

※基本方針(案) P48～P50

地域コミュニティとの連携拠点、安全安心の防災拠点、
行政サービスの拠点として、市民が集える将来を見据えた
コンパクトな庁舎



仮に建設する場合のスケジュールは…

※基本方針(案) P50

耐震化などの課題の解決は可能な限り早急な対応が必要なため、平成30年度の完了を提案しています。

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 関係機関協議 | → | | | |
| 財政面での検討 | → | | | |
| 用地買戻し | | → | | |
| 実施設計 | | → | | |
| 各種手続き | | | → | |
| 建設工事 | | | | → |

※この資料は概要版です。詳細は別添の庁舎建設基本方針(案)をご覧ください。

不明な点は筑紫野市 戦略企画課にお問い合わせください。電話 (092) 923-1111(内線238、239)